



令和7年度 FCP展示会・商談会シートの活用に関する研究会 第一回資料

2025年9月17日
FCP展示会・商談会シートの活用に関する研究会

FCP展示会・商談会シートの活用に関する研究会（趣旨・概要）

1. 趣旨

FCP展示会・商談会シートは、農林水産省が推進するフード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）の一環として、食品関連事業者が自らの取組や商品の特徴等を的確に整理・伝達するために開発されたツールです。

本シートは、6次産業化や輸出促進等の文脈でも広く活用され、現場において事実上の標準書式として一定の地位を築いてきました。

昨今、地域の食品産業や農林漁業を取り巻く環境が大きく変化するなかで、以下のような観点から、FCPシートのさらなる普及と有効活用が期待されています。

- 地域の魅力的な商品の発掘
- 関係事業者の人材育成・組織的成長の促進
- 支援機関や地域ネットワークとの連携強化

昨年度（令和6年度）は、FCP展示会・商談会シートの現場での活用実態や課題を把握し、その普及促進の方向性を検討するため、全3回の研究会を開催しました。

その中で、特に地方の中小規模事業者への支援ツールとして、短く実践的な普及啓発用コンテンツ（短編動画）の有効性が指摘され、令和7年度はその制作と普及を中心的な取組として展開することとしました。

FCP展示会・商談会シートの活用に関する研究会（趣旨・概要）

2. 活動方針と構成

（1）主な活動方針

- 短編動画の作成方針の検討
- FCPシート普及のための短編動画の作成（FCP公式ホームページへの掲載を前提とした整備）
- 作成した動画の効果的な普及方法の検討
- 地域事業者や支援機関が活用しやすい形での展開の提案

（2）研究会構成

- 参加者は、FCPネットワーク登録者、または農水省関連事業に参画する自治体関係者などから募集する。
- 対面を基本とした年3回程度の開催（オンライン併用可）とする。
- 発言の自由を担保するため、チャタムハウス・ルールを適用する。
- 成果物（短編動画）の権利帰属等については、他のFCP成果物と同様の取り扱いとする。個別の対応が必要な事情が生じた場合には、農水省FCP事務局と協議して取り扱いを検討する。
- 成果物（短編動画）の具体的な活用手法の一つとして、農林水産省FCPホームページへの掲載を行う。
この場合、当該動画内、農水省FCPホームページ内の動画の説明文などのしるべき場所に、撮影協力者（社）の名称を記載する方針で調整する。

研究会の進め方についてご相談（たたき台）

- **第一回で行うこと**

研究会の目的共有、参加者の顔合わせ、今年度の進め方に関する意見交換（成果物イメージ、編集委員会編成、編集方針に関するアンケート、実証方針など）

- **第一回と第二回の間に行うこと**

編集方針への要望アンケート、編集委員会での検討、シナリオ作成、可能なところから撮影着手

- **第二回で行うこと**

11月上旬時点での成果物（シナリオ、可能であれば、一部は撮影済み動画）を基にして、その後の作業方針、実証手法、実証結果の反映などについて意見交換

- **第二回と第三回の間に行うこと**

成果物（一次案＝実証用）が出来上がり次第参加メンバーで共有。実証協力者により、実際にターゲット層に視聴してもらっての結果を収集。

- **第三回で行うこと**

実証結果を共有。運用面での改善点について意見交換。普及方針について意見交換。

成果物（短編動画）に関するイメージ（議論のためのたたき台）

● 想定するターゲット

シート記入の初心者。シートの存在は知っているものの、そもそもの用途や記入方法についての情報があまりない状態の「中小規模の事業者、農林漁業者」を想定。

あわせて初心者にアドバイスする「自治体、物産協会、商工会議所、地銀などの支援団体」等。

● 想定する利用場面

農林水産省HPを通じての各自の視聴、各地域で実施するシート記入研修時の導入としての視聴（又は、研修後の復習等での視聴）

● 構成イメージ（たたき台）

一回5分程度の長さで、4部構成（①シート作成の必要性、期待される使用効果、②表面記入のポイント・注意点、③裏面記入のポイント・注意点、④具体的な記入例や記入しての感想）としてはどうか。

具体的には、編集方針アンケートの結果も踏まえ、編集委員会で決定することとしてはどうか。

● 作成手順案（たたき台）

第一回研究会の意見交換結果を踏まえて、手上げで編集委員会を構成、編集方針に関するアンケートを実施、アンケート結果を踏まえて編集委員会でシナリオ・動画出演者等を決定。

必要に応じて、研究会メンバーに共有しつつ、撮影・編集等を進める。

FCP展示会・商談会シート

短編動画のなかで、訴えかけたい内容、編集方針として取り入れる必要がある事項について、研究会メンバーにアンケートを行い、実際の編集方針に反映します

※以下は、仮に作成したアンケートの案です。

Q1：動画の構成①～④で強調したいポイントについてご自由にコメントをください。

構成①シート作成効果について（ ）

構成②表面の記入について（ ）

構成③裏面の記入について（ ）

構成④記入例や感想について（ ）

Q2：シートの各部分で、動画の中で言及したい内容を教えて下さい。

「A」の部分について（ ）

～

「F」の部分について（ ）

Q3：そのほか：動画編集、撮影等についてご希望の点を教えてください。

The image displays a survey form titled "FCP展示会・商談会シート" (FCP Exhibition/Trade Show Sheet). The form is divided into several sections, with specific areas highlighted by yellow boxes and blue outlines, labeled A through F. These areas correspond to the questions in the text. The form includes fields for product name, target audience, and production details. The highlighted areas are: A (Product Name), B (Target Audience), C (Product Photo), D (Message), E (Production/Manufacturing Points), and F (Product Management Information).

令和7年度FCP活動 スケジュール（計画案）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			FCP メンバーマガ等で 研究会参加者募集を開始		第1回研究会9月17日 （研究会目的の共有・短編動画の作成方針・スケジュール等の検討）		第2回研究会 （動画シナリオ等の確認・原案レビュー）。実証方針検討など）			FCP活動報告会	第3回研究会 （成果物確認／普及戦略の検討）

フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）とは

- 消費者の「食」に対する信頼を高めることを目的として、農林水産省が提供するプラットフォームの下に食品関連事業者が主体的に食品の安全や信頼確保のための取組を進めるプロジェクト（平成20年6月に立ち上げ）
- 食品関連事業者が消費者の信頼を確保するために取り組むべき事項や関連する情報を共有することで、原材料調達から、製造、保管・輸送、販売に至るまでのフードチェーンの各段階における食品関連事業者の活動を「見える化」し、食品関連事業者間や消費者まで伝える取組を実施
- 有識者等を招いて、食品の安全・安心に係る勉強会や交流会を開催。参加者によるワークショップを行い、情報を共有

目 標

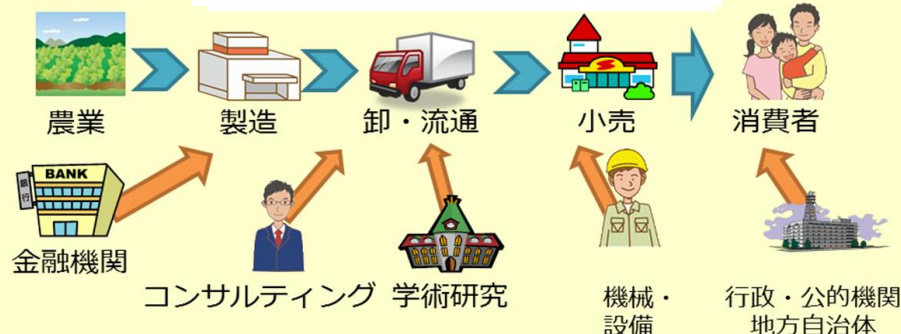
- 消費者の信頼向上
- 食品安全の向上・食品事故の減少

- 企業コンプライアンスの向上
- 取引の活発化

中小事業者の
取組の向上！

FCP情報共有ネットワーク

農林水産省：プラットフォームの提供
食品関連事業者：1,475社/団体が参画
(令和7年3月末現在)



【活動内容】

- 情報共有（コミュニケーションの促進）
- 工場監査項目等の共有化（見える化）
- 参加企業のレベルアップ（人材育成）

FCP活動

